

固形燃料の原料として、
さまざまなものが有効利用できます。
単体では利用しにくい廃棄物も、
適切に組み合わせることにより
高品位な固形燃料の原料として
有効利用することが可能です。



下水汚泥

含水率が高い下水汚泥も、乾燥することにより、
固形燃料の原料になります。



廃プラ (一般廃棄物)

さまざまな材質のものが混入していますが、適切な
選別をすることにより、固形燃料の原料となります。



畳

処理に困る畳も、適切に破砕処理をすることで固形
燃料の原料としてリサイクルします。



剪定枝・木くず

行政や企業・一般家庭などで発生した剪定枝も、
固形燃料の原料として有効利用できます。



廃プラ (産業廃棄物)

マテリアルリサイクルが困難な廃プラは、固形燃料の
原料としてリサイクルします。



パレット、梱包用木材など

パレット、梱包用木材なども固形燃料の原料として
リサイクルします。

下水汚泥の乾燥品の分析結果 (例)

高 位 発 熱 量	21500 kJ/kg (5140 kcal/kg)
低 位 発 熱 量	20200 kJ/kg (4830 kcal/kg)
灰 分	40.77%
水 分	18.44%
塩 素	0.38%
全 硫 黄	1.38%

下水汚泥を原料とした固形燃料の分析結果 (例)

原 料	乾 燥 汚 泥	40%
	廃 プ ラ	54%
	木 屑	6%
高 位 発 熱 量		28800 kJ/kg (6890 kcal/kg)
低 位 発 熱 量		26700 kJ/kg (6380 kcal/kg)
灰 分		16.67%
水 分		3.55%
塩 素		0.15%
全 硫 黄		0.34%

※上記の分析結果は一例です。本プラントの能力を保証するものではありません。

MIIKEでは、お客様の多種多様なテストもお受けしております。
事前にご確認いただきたい場合にはぜひご利用ください。

MIIKEでは、お客様の多種多様な材料に応じたテスト用機械を完備しています。
設備の見学およびお持ち込みによる実証テストもお受けいたしております。

■主な営業品目

- RPF製造プラント
- RDF製造プラント
- 容器包装プラスチックの
リサイクルプラント
- 圧縮梱包プラント
- マテリアルリサイクルプラント
- ペットボトルリサイクルプラント
- 廃木材有効利用プラント
- 粗大ゴミ破砕・選別プラント
- 木質ペレット製造プラント
- パーク堆肥製造プラント
- 各種廃棄物の中間処理設備
- 温水ボイラー／蒸気ボイラー
- 粗大ゴミ破砕機
- 多目的圧縮成形機
- 多目的造粒機
- 大型破砕機
- 移動式破砕機
- 減圧加熱乾燥機
- プラスチック破砕機
- オガ粉製造機
- モミガラ粉砕機
- 各種破砕、粉砕機
- 傾斜型選別機
- 比重選別機
- 篩機
- 各種選別機
- 各種乾燥機



未利用資源の有効利用をめざす

株式会社 御池鐵工所

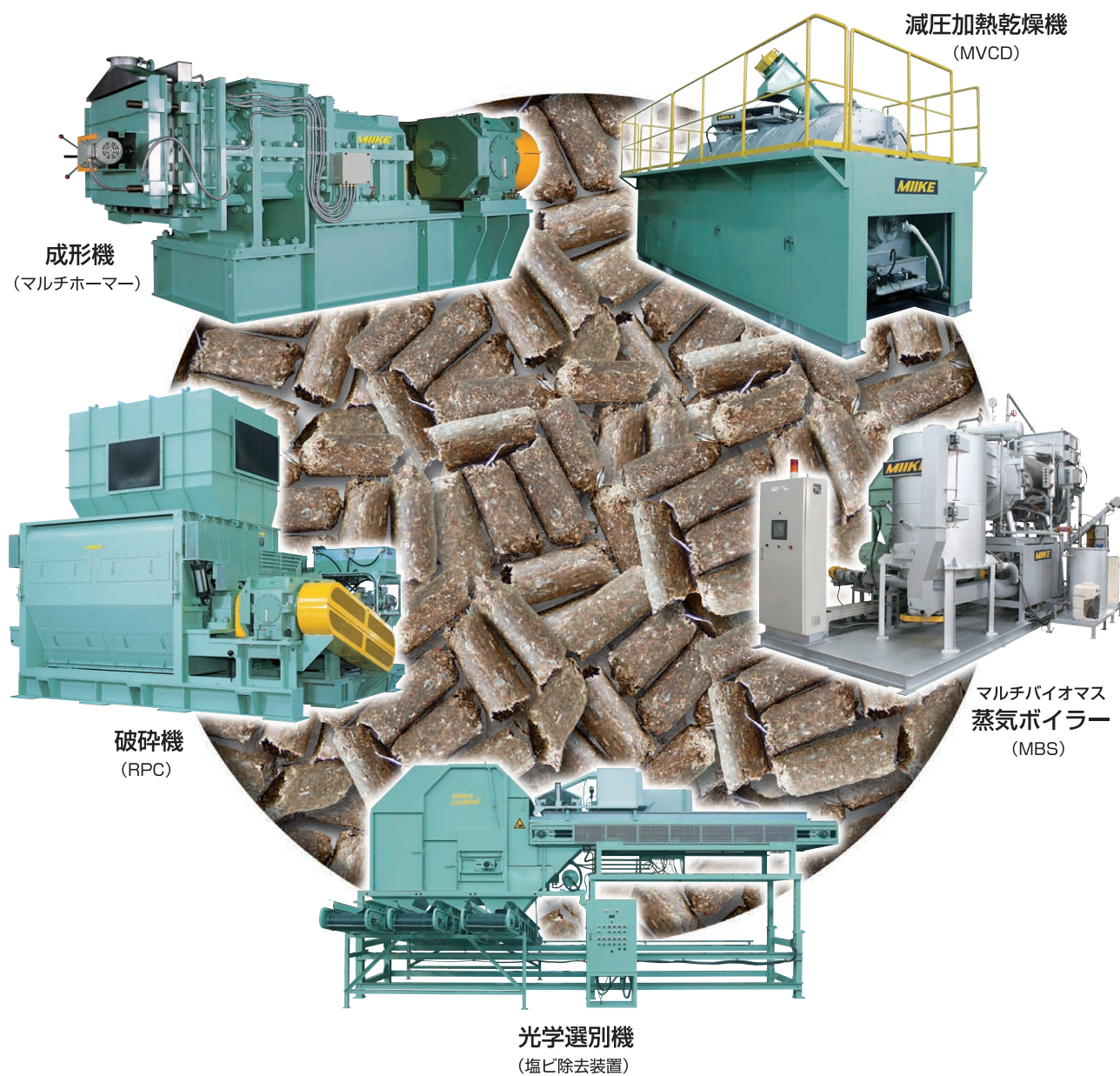
本社・工場 〒720-2124 広島県福山市神辺町川南396-2
TEL (084) 963-5500 (代) FAX (084) 963-5508
札幌営業所 〒060-0001 札幌市中央区北1条西三丁目古久根ビル8F
TEL (011) 223-1208 (代) FAX (011) 223-1207
関東営業所 〒333-0855 埼玉県川口市芝西二丁目4-19
TEL (048) 261-1166 (代) FAX (048) 261-7115
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島三丁目11-26
TEL (06) 6885-1958 (代) FAX (06) 6885-1957
九州営業所 〒813-0034 福岡市東区多の津四丁目9-1-301号
TEL (092) 629-0450 (代) FAX (092) 629-0451

ホームページ <http://www.miike.co.jp>

リサイクル・ルネッサンス

MIIKE

下水汚泥の 固形燃料化プラント



未利用資源の有効利用をめざす

株式会社 御池鐵工所

有機汚泥の有効利用を目指す リサイクルプラント

下水汚泥の 固形燃料化プラント

下水道の普及とともに処理時に発生する下水汚泥の量は増加し続けています。現在、下水汚泥は焼却もしくは埋立てにより処分されています。焼却処理においては、高含水率のため多量の化石燃料を必要とすることからCO₂発生原因となり同時にまた焼却炉の建て替えや保全も含め、非常に高いコストがかかっています。一方、埋立て処分においても、年を追うごとに処分場の確保が難しくなっています。このように現在、下水汚泥は有効利用されているとは言えず、むしろ重大な問題として大きく取り上げられています。この下水汚泥の処理について、**MIIKE**では効率のよい処理というだけでなく、固形燃料化によるまったく新しい有効利用法をご提案いたします。

下水の処理過程において発生する汚泥は、もともと生物処理における微生物の死骸であり、高含水率の問題をクリアすれば高カロリーを持つ有用なバイオマス資源であるといえます。**MIIKE**では、化石燃料に頼らずに、さまざまな産業から発生する廃棄物をバイオマス資源として有効に利用できる新型の「**バイオマス蒸気ボイラー**」と、減圧することにより高効率に乾燥させる「**減圧加熱乾燥機**」を開発しました。また従来より定評のある固形化の技術をもとに、乾燥させた下水汚泥と、廃プラスチックや廃木材（間伐材や建築解体材など）、生ゴミなどを適宜混合することにより、**石炭以上の発熱量を持つ「固形燃料」としてリサイクルする技術**を確立しました。

この「固形燃料」は、徹底した品質管理をすることにより常に一定の品質を保つことができ、また原料をすべて国内でまかなうことで安定供給できることはもちろん、バイオマス資源を原料とするためCO₂発生量の抑制につながり、まさに時代のニーズにマッチした燃料であるといえます。

MIIKE の下水汚泥固形燃料化プラントの特長

固形燃料は均質で扱いやすい燃料です

- 下水汚泥を固形燃料にすれば取扱いが容易になります!
- 原料はすべて国内でまかなえるので安定した供給ができます!
- 徹底した品質管理により均一な製品が製造できます!
- 固形燃料化した製品は悪臭が減少します!
- CO₂の発生の抑制につながります!

優れた経済性を発揮します

- 焼却処分費・埋処処分費を大幅に削減できます!
- 乾燥工程では効率のよい減圧加熱乾燥システムを採用。その乾燥熱源には、様々なバイオマス燃料を使用できる **MIIKE** マルチバイオマスボイラーを採用することで、製造コストが低減できます。

長年のノウハウで様々なご要望にお応えいたします

- 破碎、成形といった固形燃料製造の基本技術はもちろん、受入／選別／乾燥／貯蔵／冷却／搬送／燃焼といったすべての工程を自社オリジナル製品で対応しています！
- 長年の実績をベースとした、その場所に最適なお提案ができます！

MIIKEでは自社オリジナルの機器で、企画・提案・設計・製造・据付・アフターサービスまで、一貫して行うことができ、お客様の様々なご用途・ご要望にお応えいたします。また、テスト用機械を完備しておりますので、設備の見学およびお持ち込みによる実証テストもお受けいたしております。



■下水汚泥固形燃料化ラインフロー

